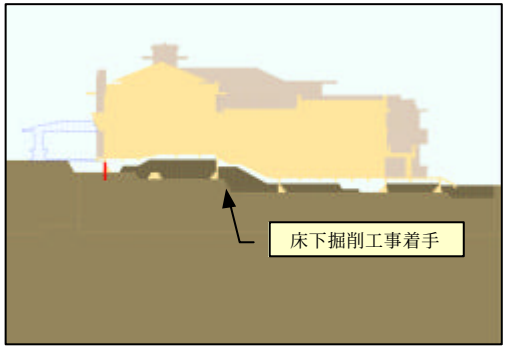
曳家工事手順の概要

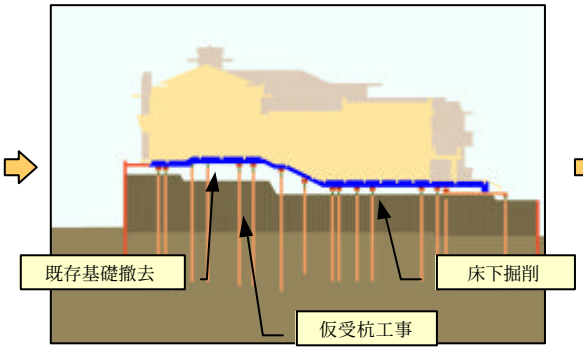
● 曳家（ひきや）

曳家」とは、住宅の移動などによく用いられてきた工法で、建物を基礎から切り離し、コロにより建物そのものには影響させないで目的の場所へ移築する方法。

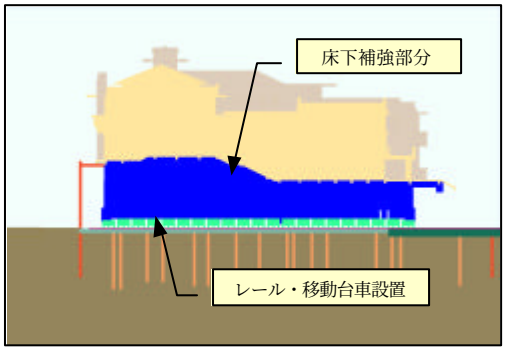
①旧官邸床下掘削



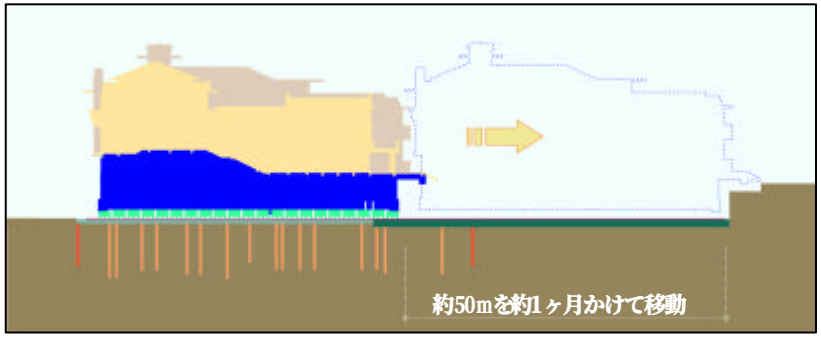
②旧官邸仮受杭工事



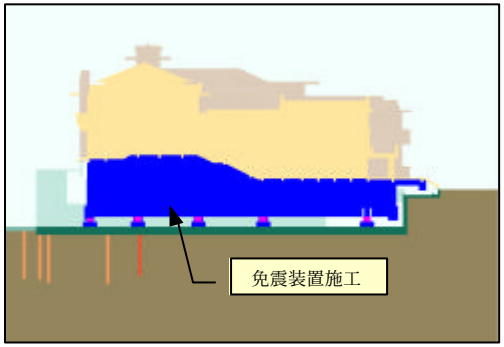
③旧官邸床下補強工事



④曳家



⑤免震化工事



①旧官邸の床下を掘削する。

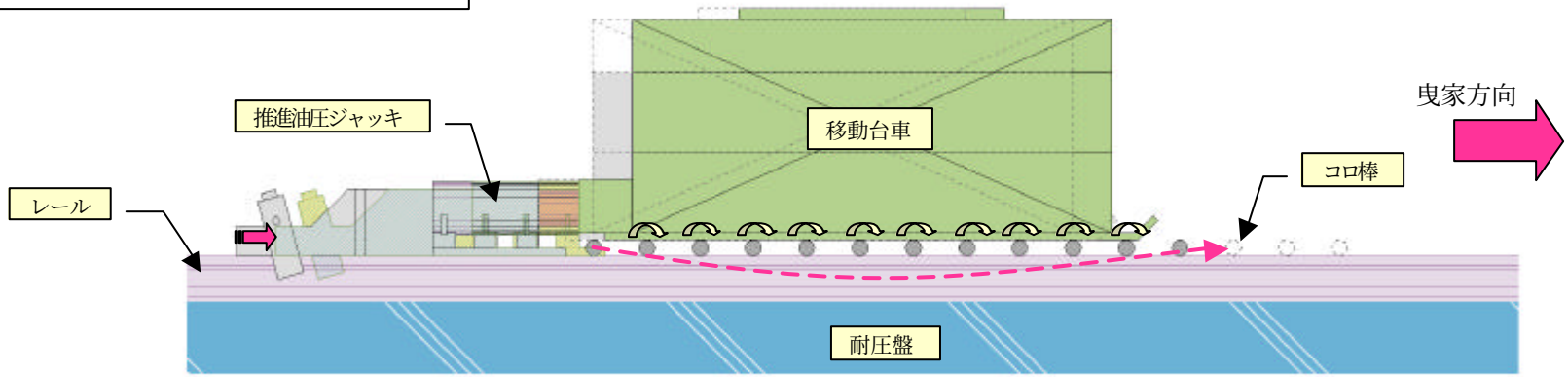
②建物を基礎から切り離すために建物を仮に受ける杭を設け、その後基礎を解体する。

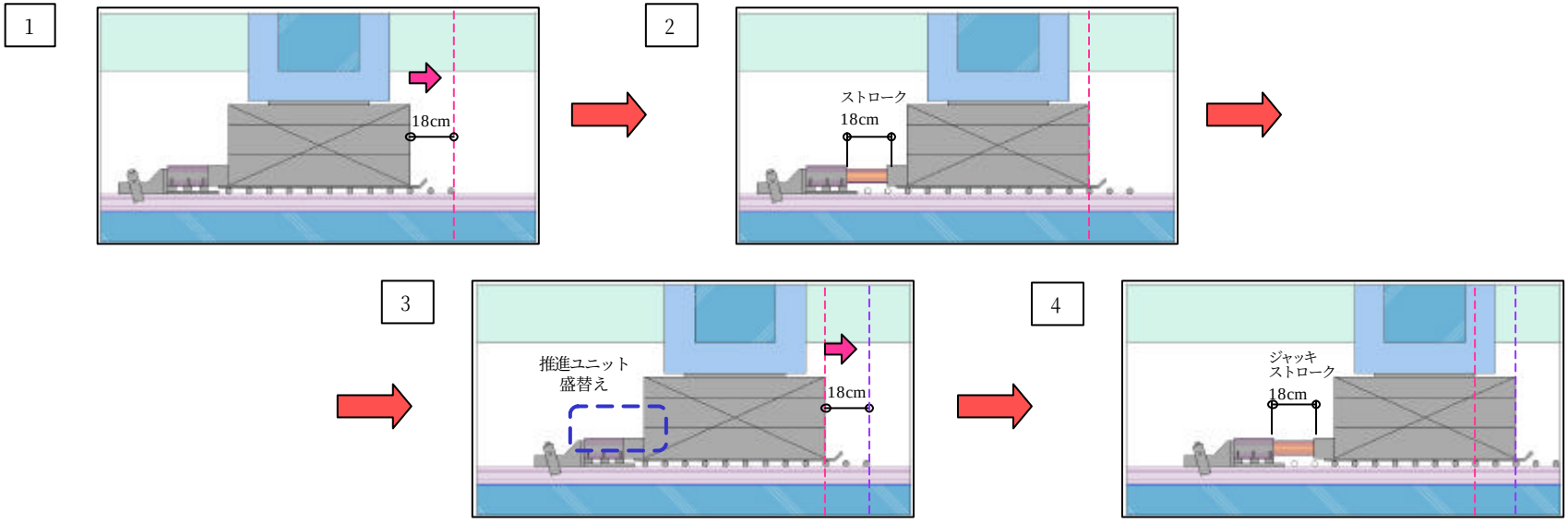
③床下を掘削後、耐圧盤と呼ぶ鉄筋コンクリートの盤を設けその上に移動用のレールと台車を設置し、あわせて建物の補強工事を行う。

④建物を新しい場所へ移すための曳家工事を行う。

⑤移動後、台車をとり、免震装置を組み込む。

曳家移動装置の概要





● 建物移動のための台車は約２30台配置し、約３０台の油圧ジャッキで押すことにより建物を移動させる。　ジャッキのストローク（長さ）が約１8cmなので、１回押すたびにジャッキも移動させながら進めていく。移動の速度は1秒間に１mmくらいで、１日に2～３m程度移動させる予定である。作業期間は約１ヶ月の予定である。